

第83号

議会だより

発行
広川町議会
編集
議会広報特別委員会

〒834-0115
福岡県八女郡
広川町大字新代1804-1
TEL0943-32-0109
FAX0943-32-5164

印刷 (株)佐賀印刷社



ハグハグ再開、元気な笑顔が帰ってきました

9月定例会

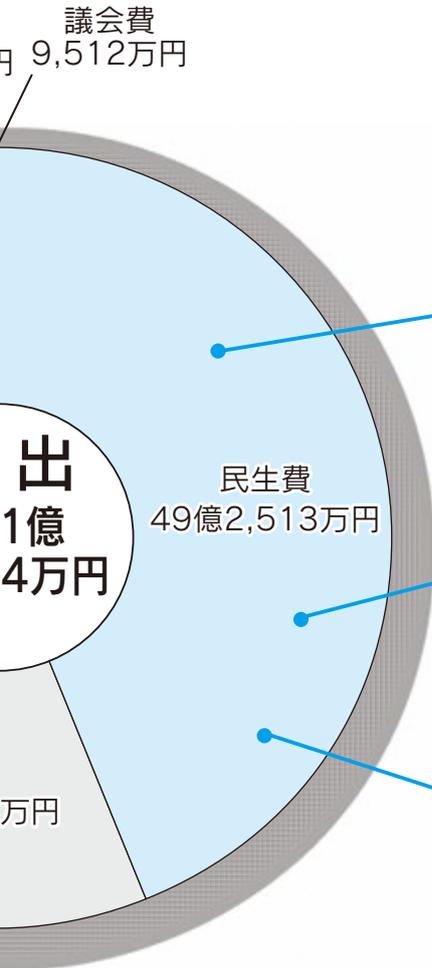
9月2日～16日

- 令和2年度決算 138億の使われ方は …… P2～4
- 町政を問う 7名が登壇 …………… P6～10
- 小中学校、2学期制へ …………… P12
- ワクチン接種の近況 …………… P14

= 138億

令和2年度はコロナの影響で支出は昨年度比1.4倍と大きく増額している。

特別定額給付金や生活困窮者やエッセンシャルワーカーへの支援金事業、新生活様式対応へ調達コスト増、コロナ関連の対策費だけで20億円以上の支出の増額になっている。この金額のほとんどは、国からの補助金である。



『コロナ支援等』

特別定額給付金など様々な支援がありました。



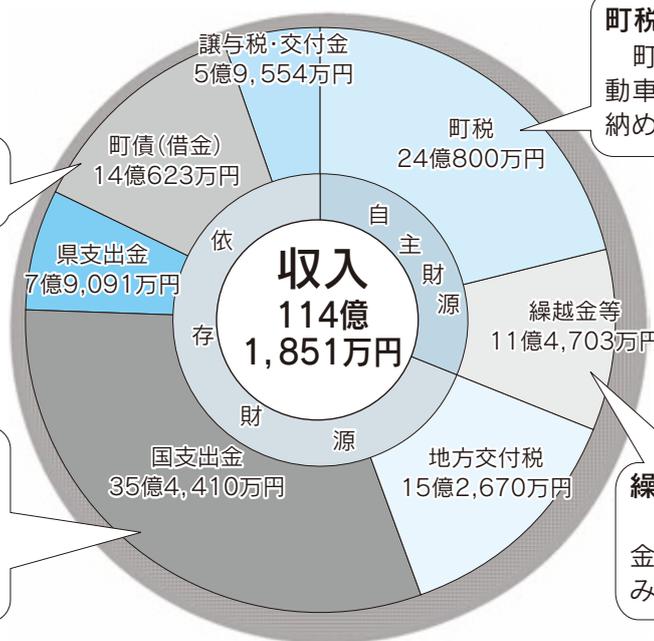
『シエル開設』

広川町障がい者基幹相談支援センターができました。



『子育て世代包括支援センター』開設

母子手帳アプリ導入や乳児家庭訪問活動などが行われました。



町債
町の借り入れ金です。

町税
町民税・固定資産税・軽自動車税など、みなさんが町に納めている税金です。

国庫支出金
国からの支出金で保育や医療など使い道の決まった補助金です。本年はコロナ禍で2倍以上増額となりました。

繰越金等
ふるさとづくり応援寄付金等 1億9250万円を含みます。

令和2年度は制度改正やコロナ禍による企業業績の悪化により法人税が減収。コロナ対策として国・県支出金は倍増。また消費税10%へ増税のため地方消費税交付金が22%増額。

令和2年度
決算

一般会計

特別会計

112億 + 26億



『豪雨災害の復旧』

河川の越水被害や
農作物被害の対策

災害復旧費



『まち子のおにわ』 オープン

小さな子ども達の遊び場づくり

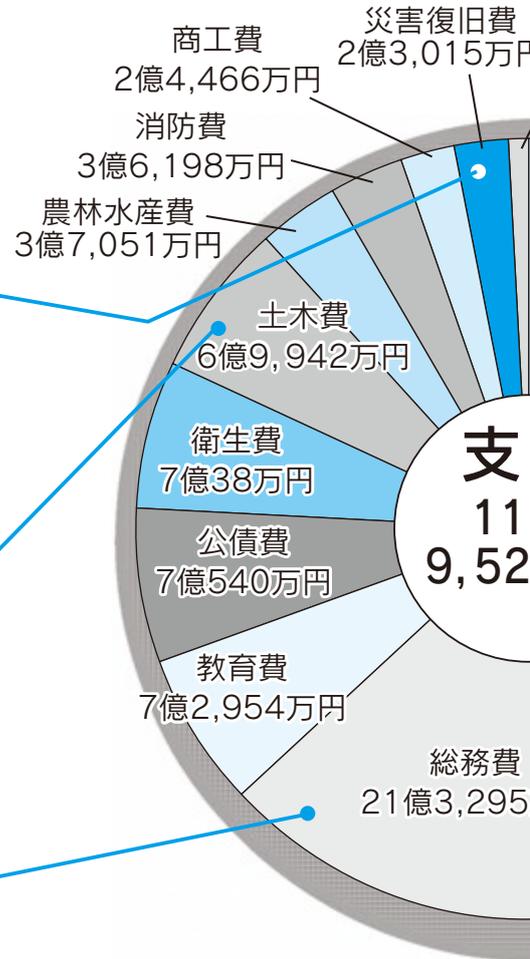
土木費



『新庁舎建設』

来年5月完成予定

総務費



※決算に係る数値は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

会計別の決算

		収入	支出	差し引き額
一般会計		114億1851万円	111億9524万円	2億2327万円
特別会計	国民健康保険	23億7553万円	23億4961万円	2592万円
	後期高齢者医療	2億8583万円	2億7791万円	792万円
	住宅新築資金等貸付	157万円	8万円	149万円
	広川防災ダム管理	3543万円	3403万円	140万円
公営企業会計	水道事業 (収益的収支)	3億8525万円	3億1647万円	6878万円
	〃 (資本的収支)	1192万円	8454万円	△7262万円
	下水道事業 (収益的収支)	3億8800万円	3億2551万円	6249万円
	〃 (資本的収支)	4億45万円	5億2029万円	△1億1984万円

事業効果を チエツク

決算特別委員会では、9月13日～15日の3日間集中審議が行われ、全て認定すべきものと決定しました。

将来負担増の可能性は

○ 本年度、国勢調査が行われた。他の市町の人口増減によって、一部事務組合等の広川町の負担金はどうなると予測しているか？

○ A 八女消防組合負担金というと消防費は約1000万円超増額を見込んでいたため、一部事務組合負担金については、構成市町と協議を行っていく予定である。

家庭ごみの処理は

○ コロナ禍で家庭ごみの増減の状況はどうか？

○ A 可燃ごみは減っているが、資源ごみ・不燃ごみとも増加している。

町民の健康は

○ コロナ禍の健康寿命増進策はできているのか？

○ A フレイル対策に力をいれており、貯筋体操などを推進している。

※フレイルとは、加齢により身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のこと。

障がい者相談支援センター

○ 町単独で開設された広川町障がい者基幹相談センター「シエル」の利用状況はいかがか？

○ A 相談件数、利用人数ともに増えている。利用しやすいと好評である。

上下水道の今後は

○ 上・下水道の財政の観点から今後の方向性は？

○ A 下水道は加入率が低い。経営面からも町民に理解頂き、加入促進に努める。

町の主な財務状況

資産…基金・債権・出資金・有価証券	31億 8617万円
負債…町費	78億 54万円
上水道事業 負債	3億 2916万円
下水道事業 負債	28億 6937万円

さらなる創意工夫を ～ 監査委員意見 ～

予算執行及び経理事務、財産の管理など財務関連事務は良好な執行がうかがえる。
一般会計及び特別会計の収支状況は適正な予算執行ですべて黒字決算である。

少子高齢化や人口減少対策、社会保障費の増加、公共施設老朽化への対応など多額の財源を要する事業にも数多く取り組んでいる中、新型コロナウイルス感染症は収まる気配も見えない。このような中、財政運営に一段と厳しい影響を及ぼすことが懸念される。
今後、徹底した精査を行いさらなる創意工夫により町の発展と行政サービス、福祉の増進に努められるよう要望する。



井上監査委員

議案の審議

(1) 令和2年度決算7件

【2・3・4ページ参照】

○一般会計歳入歳出決算の認定
反対討論(江藤議員)

同和对策事業は法律にのっとり一般対策ですべき。教育予算はPTAに頼らず町の予算対応を。町債の増加について町民負担や今後の財政運営にどう影響するか説明すべき。

賛成討論(池尻議員)

同和問題は存在している。補助金は、規約にのっとっている。真に差別を受けた人が問題解決に向け活動することは大切である。

反対1 賛成11 可決

○特別会計歳入歳出決算の認定
4件 可決

○上下水道事業会計決算に認定
2件 可決

(2) 報告1件

○令和2年度決算に基づく健全化比率等の報告

実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率・資金不足比率ともに健全段階を示している。

(3) 承認2件

○手数料条例一部改正
個人番号カードの再発行の手料は、地方公共団体情報システムに支払うことになった
○新庁舎等建設1期工事(電気工事)工事請負変更契約の締結
九電工・西部・高鍋特定建

(4) 固定資産評価審査委員会委員
田中靖夫氏 選任
同意1件

469万7000円の増額

○人権擁護委員候補者
貞莉えり子氏 推薦
推薦1件

○個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正
議案6件 可決

○町税条例一部改正【13ページ参照】

○住宅新築資金貸付特別会計条例の廃止
令和4年度から一般会計にて運用する

○消防団IP無線購入に係る契約の締結
携帯用30台 車載用8台
消防署とも連携

NTTビジネスソリューションズ株式会社
990万円

○水道事業会計決算剰余金の処分
6743万円
建設改良積立金へ
6700万円
翌年繰越利益剰余金
43万円

○吉里牟礼線(湯府橋)橋梁下部工事請負契約の締結
株式会社 広建
6149万円

(7) 補正予算9件 可決
【表1 参照】

○一般会計補正

地域コミュニティ施設等デジタル化推進事業

○各行政区での活用についての各区长等への説明は。

○A 区長にアンケート調査を実施。推進すべきであるとの見解

○申請が偏るのではないかと。町直轄事業は考えなかったか。

○A 主体性を考慮する。先進的行政区ができる。

○Q 事業は何年か継続するのか

○A 初年度の様子を見ながら考える。

○Q サロンでどのように活用するのか。

○A 講師をオンラインで招聘したり、自宅から参加したりできる。

○Q 私立保育所環境整備等支援事業補助金の減額があるが、当初予算で計上できなかったのか。

○A 計画の見積もりが間に合わず、定員だけに基つき申請したため、減額等が生じた。

○Q 今後の計画は

○A 令和3年、4年の二か年計画。来年度完成予定。

○Q 公共土木施設災害復旧事業1億8925万円追加

○議員発議

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

○提案者 栗原 福裕

○賛成者 光益 良洋

○賛成者 丸山 修二

可決

可決

表1 補正予算の内容

(単位:千円)

会計名	補正額	補正後の金額	内 容
一般会計補正	▲ 16,371	8,846,627	地域コミュニティ施設等デジタル化推進事業 私立保育所環境整備等支援事業 コロナ感染対策 道路橋梁費等
一般会計補正	189,250	9,035,877	災害復旧工事費等
国民健康保険会計補正	24,218	2,666,366	繰越金の増額 県交付金の増額
後期高齢者医療特別当別会計補正	4,014	300,532	決算確定等
住宅新築資金等貸付特別会計補正	▲ 70	1,814	繰越金の減額
防災ダム管理特別会計補正	1,648	30,936	決算確定等
防災ダム管理特別会計補正	4,000	34,936	農地農林業施設災害復旧工事等
水道事業会計補正	1,106	450,302	人件費の増額
下水道事業会計補正	▲ 5,430	671,688	人件費の減額

一般質問とは

※議員が一般事務に対し、その執行状況や将来の方針について、政策提言や行政課題等を執行者に直接たずもものです。一人当たりの持ち時間は答弁を含め、60分です。議会だより掲載の原稿は、質問者本人が作成しています。

7人が 質問



町政を問う!!

質問者	質問項目	ページ
池尻 浩一	消防団の活動状況について 教育体制の今後の方針について	P7
栗原 福裕	公共下水道事業の見直しについて	P7
江藤美代子	ジェンダー平等に向けての取り組みについて 教育関係予算について	P8
野田 成幸	下広川小施設の将来像について 通学路の安全確保について	P8
山下 茂	2学期制の導入について 空き家対策について	P9
竹下 英治	学校教育について まち・ひと・しごと創生総合戦略について 防災危機管理について 上広校区の過疎対策（推進）について	P9
水落 龍彦	読書教育の推進について 学校教育の課題解決に向けての取り組みについて	P10

議会情報は
こちら



防災対策

Q 消防団の出動状況は

A 令和2年度火災時出動率で23%

池尻 豪雨災害が全国各地で発生し、その中で消防団の力は欠かせない。団員数は確保出来ていないという中、有事の際の出動状況はどうか。

町長 令和2年度の火災出動率で23%。1回の出動で約50人前後。団員OBを活用した支援団員制度を導入し、体制の強化を図っている。

池尻 総務省から消防団員の処遇などに関する検討会が行われ、条例改正及び、予算措置を実施することとなっている。町の対応はどうか。

町長 出動に当たっての固定化は見える。役場の職員が3分の1から約半数を占めている。報酬等に関しては条例に従っているが、今後も検討していく。

池尻 役割の多様化、様々な主体との連携が必要と感ずるが、町の体制としてはどうか。

町長 これまでの細かい被災状況等を再度確認しながら水路等を含め、消防団と協力、検討を続けたい。



池尻 浩一 議員

○教育委員会事務局にも質問

池尻 令和4年度から導入予定の教科担任制で、教職員の確保、南筑後教育事務所管内の取り組み、教職員能力のバランス等は大丈夫か。

教育長 教員の確保は懸念している。その他予想される課題は、国から具体策が示されていない。



消防団訓練の様子

下水道計画

Q 公共下水道事業の見直し地域を図面上で示す必要はないか

A 図面により具体的範囲を提示する



栗原 福裕 議員

栗原 除外地域には、町の中心部や国道3号バイパスの計画路線の地域もあるが、今後の町発展に影響しないか。

いか。

町長 国道3号バイパスは視野に入れて見極めたい。

栗原 事業の受益者負担と除外地域の補助制度の考えは。

町長 公共下水道と合併浄化槽の負担と補助の不均衡は正に向け協議する。

栗原 合併浄化槽への再度の補助金の考えはあるか。

町長 現在のところ考えていない。

栗原 住民への説明をしっかりと行い、公共サービスの平等性を踏まえ、健全な財政運営に努力し事業を推進されたい。



ジェンダー平等に向けて

Q 役場内の女性管理監督職の登用率は
A 現在23・4%で、伸びている

Q 学校などのトイレ個室に生理用品の整備を
A 学校と協議、検討していく

江藤 以前より女性登用率は伸びているのは、評価できる。さらに、女性も働き続けられるよう、制度的改善や職場づくりに努められたい。

町長 男女の観点ではなく、本人のアンケートや人事評価に基づき登用している。令和5年4月までに、30%目標に向け取り組む。

江藤 経済的負担の軽減の面からだけでなく、「学習権の保障」や「女性の健康・尊厳」などジェンダー平等の面からもトイレの生理用品整備が必要。一か所からでも始めてほしい。

町長 町は赤十字の寄付金をもとに生理用品を保健室に用意している。(就学援助を受けている世帯向け)しかし、受け取りはない。トイレに常備することに様々な課題が考えられるが、学校と協議、検討していきたい。

教育予算

Q PTA会計からの学校教育への予算執行は
A 学校で使用する物品は町が負担すべき。学校に確認、指導する



江藤美代子 議員

江藤 公教育である学校に、任意団体であるPTA会計から、コロナ対策やICT教育、安全対策にむけて備品や消耗品などの支出がなされている。町の予算で整備すべきではないか。

教育長 予算要求での予算化、補正予算などで対応したい。今後、学校にも確認、指導したい。



安全のためにPTAの会計から購入した安全マット

学校施設管理

Q 学校プールの改善策と今後の計画は
A 改善して対応、整備計画は未定

野田 広川町の学校プールは老朽化が進み改善の必要があると思われが。

教育長 建設から50年を迎え、老朽化が著しいが、現在は改善をして使用している。

野田 改善には多額の費用を要すると思うが、今後の計画はどのようなになっているのか。

教育長 現行のままプールを新設するのか、統合して共同利用



野田 成幸 議員

できる施設を設置するのか、合理的に判断したい。

野田 下広川小学校の運動場の整備計画についてうかがう。

教育長 交差点改良計画や旧下広川学童保育場跡地、熊野神社参道など全てを一体的に捉えて最も効率的な整備をスピード感を持って進める。

と協議行い危険個所の一覧を制作、点検を早期に実施し安全対策に努める。

通学路安全確保

Q 通学路等の安全確保はどの様になっているか
A PTAや関係機関と協議し安全対策に努める

野田 千葉県にて下校中の児童を巻き込んだ悲惨な事故が発生している。広川町の通学路の点検等安全対策はどの様になっているか。

教育長 安全確保に向けて「広川町通学路安全推進会議」を設置している。道路を管理する関係機関と危険個所の改善の検討を行っている。

野田 児童や保護者からの申し入れはあるか。

教育長 各PTA



上陽三瀬線通学路の現状

学校教育

Q 2学期制の導入について

A 来年度より導入予定です



山下 茂 議員

山下 2学期制導入の理由は。教育長 休校やコロナウイルスによる授業数の減少などへ対応

特に中学生に学力テスト後に保護者面談を行い、課題や生活状況も伝える事で不安解消できると考えている。

し授業数を確保できると、教員の働き方改革につながる。

山下 保護者等への理解、説明が不可欠と思うが、どう考えているか。

住環境整備

Q 広川町の空き家対策について

A 空き家バンク、空き家利活用アドバイザー等の活用を広めていきたい

山下 広川町の空き家バンクが開設されたが運用についてうかがう。

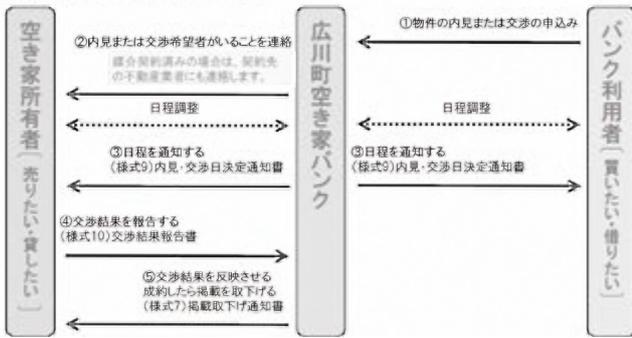
町長 登録が少しずつ行われている。今回は、県や宅建協会との連携は出来ていない。

山下 広川町の空き家利活用アドバイザー派遣制度の運用についてうかがう。

町長 空き家に隣接した一定規模の田畑などは農業委員会と協議して対応する。アドバイザーは流通に乗るのかを判断し、また簡単な相談は出来る。

山下 空き家の抑制対策は考えはあるか。

【物件の内見および交渉希望があった場合】



町長 空き家対策制度がある事を周知していく。

Q 広川町の出生数減少の原因は

A 要因分析は未完である

竹下 令和2年の出生数は124名と更に減少。提示された子育て世代の移住・定住、遊び場の充実、保育士の確保等だけでは、出生数減少への対策として不足ではないか。

出生数減少対策を検討している。

竹下 日常の買物が不便、交通のアクセスが悪い等への対応も必要である。住んでみたい町として女性に人気の高い豊後高田市の施策等も参考にしてはどうか。

県営河川整備

Q 福岡県との調整は順調か

A 努力しているが容易ではない

竹下 8月にも溢水した一応井堰、五の江井堰の河川整備に係る県との調整状況はいかに。

町長 一応井堰について、転倒ゲートを設ける場合、上流の河床を低くする必要があるため、長い距離の河川改修が必要となる。また、五の江井堰は、河川

広川町の出生数（人）の推移

Table with 6 columns (Year) and 2 rows (Birth count).



竹下 英治 議員

断面が小さいこと、隣接の町道が低いことがあり、転倒ゲートの設置と共にはやはり河川改修自体が必要となる。河川改修は下流域からの整備が基本であり、また、河川整備計画の策定も必要のため、現時点、これら井堰の改修時期に言及することはできない。

※他に、学校教育（学校運営の方針等）、上広校区の過疎対策（3号バイパス等）について質問

読書教育

Q 読書教育の推進の拡大は

A 今回は取りやめる

水落 9歳までの拡大の話は元教育長の方から発言があったので、教育委員会で共通認識等されていたのか確認したい。

教育長 図書館からの提案で教育長も一旦賛成していたが、担当の方で協議をした結果今回は取りやめている。

学校運営

Q 教師の指導力の低下はないか

A 効果的に実施できるよう指導助言している

水落 学校の管理職がいろんな方法で、教師の課題をつかみ支援していく中で総合的に判断して、教育委員会に情報が届いていくということか。

教育長 校長会、学校訪問等で随時各学校の様子を見ている。

水落 人材育成の観点から広川町以外の教職員の人事交流は考えているか。

教育長 二学期制を導入し本町以外との人事交流をなるべく図る。

Q 育成指導にどのようなサポートをしているか

A 研修や指導主事の活用に努めている

水落 厳しすぎる指導をする指導教師がいた場合の対応は。教育長 教育委員会と学校が連絡を取り合い、校長に確認して必要に応じて指導助言をしている。



読み聞かせのようす



水落 龍彦 議員

議長報告 介護給付費は612億円

令和3年7月30日、福岡県介護保険広域連合令和3年第2回定例議会が博多サンヒルズホテルで開催されましたので、構成する市町村から選出された議員として出席しました。

福岡県介護保険広域連合の令和2年度事業運営費は、本連合の組織運営に必要な経費にあてる「一般会計」と「介護保険事業特別会計」の二つの会計により、介護保険制度のより安定した事業運営が行われました。

一般会計の決算では、歳入総額20億140万円、歳出総額19億5402万円となり差し引き額は、4737万円となっています。主な経費として、歳出の27%を占める総務管理費派遣職員人件費払戻金5億3943万円、11%を占める給料・手当等職員人件費2億1603万円となります。また、歳出の57%を占める国・県・市町村から受け入れた低所得者保険料軽減負担

金11億1158万円を第1号被保険者保険料軽減にあてるため、介護保険事業特別会計へ繰り出しています。

介護保険事業特別会計の決算では、歳入総額703億6661万円にたいし、歳出総額681億2773万円となっており、差し引き額は、22億3888万円となります。主な経費では、歳出の90%を占める保険給付費611億9661万円、7%を占める地域支援事業費46億5686万円、0.7%を占める認定審査会の運営及び認定調査費4億8809万円となります。

介護保険料は4月に改訂された福岡県介護保険広域連合介護保険事業計画第8期に基づき、構成市町村のグループ別保険料の改訂がなされ、広川町はBグループとなりました。これからは、地域支援事業が重点対策になると思われます。

(議長 野村 泰也)

令和4年
5月完成
予定

新庁舎工事着々と進む

オイルタンク設置や新
型コロナウイルス感染症、
大雨の影響を受けたが、
着々と進んでいる。



令和3年
8月

秋雨前線豪雨の被害は



町道梯本線の亀裂

被害は

- 町道梯本線で亀裂・沈下。
- 一応・当条・智徳で冠水、その他 14 箇所町道の損壊、埋没。
- 林道 8 箇所損壊。
- 水路、ため池で 8 箇所破損等。
- 広川、松の木川で溢水。
- 尾山谷川、東福寺川で設備破損。
- 農地 5 箇所破損等。

復旧予算は

公共土木災害 8 件
1 億 4,600 万円 (概算)

農作物被害 2.56ha
77 万 7,000 円 (概算)

農業用機械施設被害
30 万円 (概算)



林道の損壊現場

広川町の小中学校令和4年4月から2学期制導入へ

2学期制とは 1年間で2つの学期（前期・後期）にわたる制度

- 年間の授業日数は今まで（3学期制）と同じ
- 長期休業日（夏休み等）の日数・時期は今までと（3学期制）と同じ
- 学校の完全週5日制が始まり、授業日数が40日程度減少したことで、その確保をどうするかで始まった取り組み

利 点

- 授業時数の確保により学習の充実や、きめ細かな指導と評価ができる。
- 教職員に時間的ゆとりが生まれ授業の準備や児童・生徒への助言指導にかかわる時間がとれる。

課 題

- 通知表が年間2回に減ることへの保護者の不安
- 中3の進路選択に対する保護者の不安

Q 学力テストの範囲や回数の変化は

A 前期2回後期2回としていく

Q 保護者説明会等は

A 町全体の取り組みとして説明する

Q 教職員の異動に伴う不安要素は

A 南筑後地区全体で解決していくべき

Q 南筑後地区の他市町の動きは

A 現在8分の4の市町が取り組んでいる

2学期制と3学期制の1年間の流れ



総務産業常任委員会の協議

○補正予算2件

Q サーバーリプレイス事業のメリットは何か。

A 令和5年度が、統合サーバー見直しの時期になる。統合サーバーに移行したほうがコストが抑えられる。

Q VDIシステムは、一般財源で支出するようになっていないのか。

A 補助金はないが、交付税の対象である。

Q 役場駐車場整備予定地は、圃場整備区域内にある。隣接地の地権者との話し合いを進めているか。

A 説明し、了承を得ながら進めている。

Q コロナ禍における新生活様式対応事業者支援事業は、来客型店舗を対象としているものの、飲食業以外への支援が少ないのでは。

A 福岡県の経営革新実行支援補助金がある。補助率が4分の3、上限が50万である。こちらをご案内している。

Q 有害鳥獣による被害が頻繁に出ている。新たな対策、研究をしているか。

A ワイヤードメッシュ等で、農地を囲む方法が有効と考えている。有害鳥獣の広域協議会と一緒に推進していく。

Q 各区の公民館のデジタル化の要望はあるか

A 不安な行政区もあるが、今後必要になるという意見が多かった。

Q 設置については、上限40万円の補助だが維持費はどうするのか。

A 各行政区の負担である。

○議案について

Q 吉里牟礼線橋梁下部工工事の工期はいつまでか。また、その内容は。

A 工期は、令和4年3月までを予定している。内容は、橋台と呼ばれる台座を造り、それに合わせた護岸工事を行う。

※サーバーリプレイス事業とは システム安定のため経年劣化したサーバーを更新すること。

※VDIシステムとは セキュリティ強化のためパソコンを仮想化する技術

厚生文教常任委員会の協議

○補正予算について

Q 体育設備点検委託料は、どんなところを考えているか。

A 小中学校の備え付けのバスケットゴールの点検等を考えている。

Q どんな業者に委託されるか。

A 体育施設の設置、修繕等を行っている業者に委託する。

Q 小学校は、ジュニアサイズで、大人であれば、ダンクができるが、ぶら下がりを禁止しているか。

A 授業、部活動で使用しているので、ぶら下がりは想定していない。夜間休日には、社会体育施設として貸し出しているので、検討したい。

Q 外国語指導助手の委託にあたっては、どのような選定をしているか。

A プロポーザル方式で行っている。
※プロポーザル方式とは 価格だけではなく内容を重視し、選定する方式

○議案について

Q 特定公益増進法人とは、どんなものか。

A 教育または科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献、その他公益の増進に著しく寄与する法人である。

Q 特定公益増進法人等に対する寄付金のうち、「出資に関わる業務にあてる寄付金」は、「税額控除の対象となる寄付金から除外する」ということだが、ふるさと納税への影響はあるか。

A 学校や独立行政法人、日本赤十字社、社会福祉法人等に対する寄付金の中で、出資に関する業務にあてる寄付金は、控除の対象から除外するというものである。ふるさと納税は該当しない。

Q 特定公益増進法人等への「出資に関わる業務にあてる寄付金以外」の寄付は、証明等の手続きが必要か。

A 所得税、住民税の税額控除で証明するためには、寄付を受けた法人からの証明が必要である。

Q 住民への周知はどのようなか。

A 確定申告前に、広報誌等で周知する。

新型コロナウイルス感染防止対策の近況

新型コロナウイルス感染症対策は最優先の課題です。行政と情報を共有し、この危機を乗り越える施策を着実に実行に移しています。直近のデータ2件を報告します。

○広川町のワクチン接種状況は

当初の目標は、対象者（12歳以上17,395人）の70%、10月4日時点で76%、第3クール（9月13日～10月23日）予約分と9月22日から始まった小中学生（12歳～15歳）の接種見込みを加え、80%へ目標を上方修正しました。

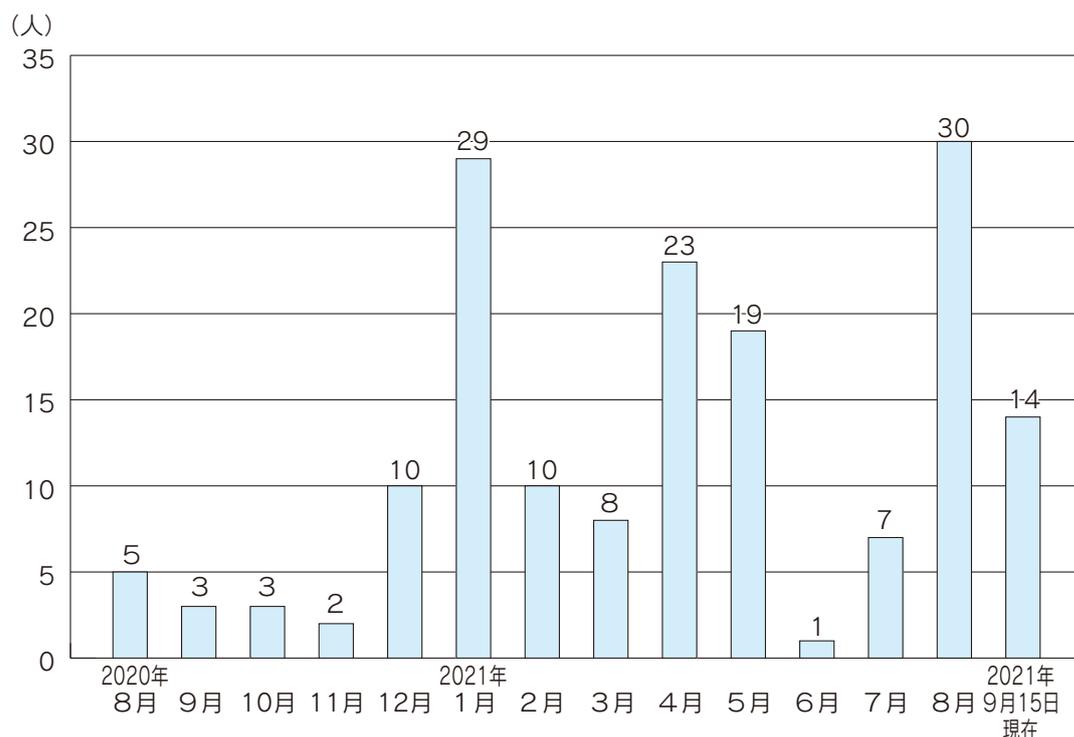
10月23日までの接種見込み数（1回目）

区分(歳)	12～14	15～19	20代	30代	40代	50代	60～64	65以上	合計
対象者数	596	932	1,839	2,139	2,563	2,392	1,275	5,659	17,395
接種者数	283	594	1,208	1,423	1,903	1,978	1,094	5,316	13,799
接種率	47%	64%	66%	67%	74%	83%	86%	94%	79%

○公立八女総合病院コロナ病床利用率の推移（病院議会全員協議会資料 2021年9月29日）

病院のコロナ専用病床は、18床（中等症対応）です。直近の月別の新規入院患者数の最高は、8月で30人、延べ入院患者数は1月の322人（1日最高17床）、一人の平均入院日数は8.7日となっています。

月別新規入院患者数の推移



学校給食の野菜くずなどを肥料に

～八女中部汚泥再生処理センター～ (愛称 八女っくりん)



①学校給食の野菜くず等



④『新八女大地』のできあがり



②週2回収集します



③機械で細かく裁断し発酵させます

八女中部汚泥再生処理センター(愛称八女っくりん)は、浄化槽汚泥や学校給食の野菜くずなどから、汚泥発酵肥料『新八女大地』を作っています。この肥料は、一般販売や学校の花壇などにも使われ、大変好評です。

学校給食の生ごみは、これまで「燃えるゴミ」として、処理していました。リサイクルすることで、経費の削減や目に見える環境教育教材としても期待されます。

八女西部広域事務組合

8月24日組合議会が開催されました。歳入歳出決算の認定については、決算額は、前年と比較し、2100万円の増の15億7105万円であります。

補正予算については、歳入歳出それぞれに4437万円を増額し、予算総額を15億8592万円とするものです。歳入については、決算余剰金の清算として、繰越金5737万円の増額、基金繰入金1300万円の減額です。歳出については、広川・立花最終処分場維持管理等基金の積立金2737万円、クリーンセンターの工事請負費1700万円の増額です。専決処分については、草刈作業中に発生した駐車車両の損傷に係る損害賠償の専決処分の報告であります。

全会一致で可決しました。

お知らせ

傍聴席は、あなたをお待ちしています。
次の定例会は、令和3年12月7日開会の予定です。

日程については、HPをご覧ください。か議会事務局にお尋ねください。

議会事務局直通
0943-32-0109

議会の動き

〈議会・委員会〉
協議会・調査など

令和3年8月～令和3年10月の行事

- 8月 2 「議員委任による専決処分」学習会
- 6 令和3年第2回福岡県南広域水道企業団議会定例会
- 13 議会運営委員会
- 18 広川町農業振興地域整備促進協議会
- 18 議会全員協議会
- 19 八女中部衛生施設事務組合定期監査・決算審査
- 24 令和3年第2回八女西部広域事務組合議会定例会
- 27 議会運営委員会
- 9月 2 第1回「議会だより第83号」編集委員会
- 2 令和3年第3回広川町議会定例会
- 6 議会運営委員会
- 7 議会全員協議会
- 8 総務産業常任委員会
- 9 厚生文教常任委員会
- 13 一般会計等決算特別委員会
- 16 第2回「議会だより第83号」編集委員会
- 21 第3回「議会だより第83号」編集委員会
- 25 八女地域良質米生産支援協議会 献穀田拔穂祭
- 29 広川町議会広報調査研修会
- 30 令和3年第2回公立八女総合病院企業団議会定例会
- 30 広川町表彰審査委員会
- 10月 4 第4回「議会だより第83号」編集委員会
- 12 第5回「議会だより第83号」編集委員会
- 19 広川町戦没者・消防殉職者合同追悼式
- 20 八女中部衛生施設事務組合例月出納検査



広報研修会の様子



貞蒔えり子氏

12月31日任期満了となる中嶋安雄氏の後任候補者に貞蒔えり子氏（川瀬行政区）を推薦。

人権擁護委員



田中靖夫氏

9月30日に任期満了となる古賀俊夫氏の後任として田中靖夫氏（智徳行政区）の選任に同意。

固定資産評価委員

編集後記

「議会だより」は、議会及び議員の活動を正確かつ迅速に伝える広報誌です。議員6人で編集をし「読みやすい、わかりやすい、議会を身近に感じる。」そんな満足度を町民の皆様に届ける努力を続けています。

9月29日全国でも評価が高い大刀洗町から講師を招きスクリーニング（審査）を受け、紙面の割り付け、見出し、図表や写真の配置等多くの課題に気づかされました。

目標は、多くの人が目を留める紙面づくりです。さて、今後の出来栄は？町民おひとり、おひとりには、モニター目線での評価をお願いします。

（梅本哲記）

議会広報調査特別委員会

- 委員長 梅本 哲
- 副委員長 江藤美代子
- 委員 山下 茂
- 委員 丸山 幸弘
- 委員 水落 龍彦
- 委員 池尻 浩一